

令和4年11月1日

教員の公募について

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科長
〔公印省略〕

本研究科において、下記要領で教員を公募いたします。

1. 職名・募集人員

助教1名

2. 勤務形態

常勤（任期なし）

3. 給与

年俸制（国立大学法人三重大学年俸制適用教員給与規程適用）

4. 所属

生物圏生命科学専攻・海洋生命分子化学講座・生体高分子化学教育研究分野

5. 講座および教育研究分野の教育と研究内容

生物圏生命科学専攻海洋生命分子化学講座では、多様な海洋生物（魚介類、藻類、海洋微生物など）の生命機能の基礎的性質を化学的に解明するとともに、海洋生物由来の生体成分に関する情報の蓄積・整備と海洋生物資源の機能性食品、化粧品、医薬品素材などへの有効利用を目指しており、これら研究活動に必要な生化学、分子生物学、食品化学などの学問分野や分析技術に関する教育研究を行っています。

今回募集する生体高分子化学教育研究分野では、魚介類にみられる特異な生理機能を司るタンパク質や遺伝子の働きについて、生化学的および遺伝子工学的解析、またバイオインフォマティクス技術を活用した解析を行っています。現在は、真珠形成の分子機構の解明に取り組むとともに、真珠養殖未利用資源の有効活用を目指した研究にも取り組んでいます。これらは、三重県だけでなく我が国の重要産業である真珠養殖の持続的発展に資することを目的とし、公的研究機関や地方公共団体、地元企業などと協力して、海洋への環境負荷を限りなく抑えた真珠養殖の実現を目指しています。

今回の募集では、上記の教育研究活動に必要とされる学識と経験を有し、海洋・水産に関わる教育活動、研究活動および地域連携活動を通し、地域社会の発展に寄与できる熱意ある人材を求めています。

6. 担当予定授業科目（分担を含む）

- (学部) 化学実験, 海洋生命分子化学実験 2, マリンフードプロセス実習, 海洋生命分子化学演習 I, 海洋生命分子化学演習 II, 卒業研究
(大学院博士前期課程) 生体高分子構造解析学特論, 生体高分子構造解析学演習, 海洋生命分子化学特論, 海洋生命分子化学特別研究 I, 海洋生命分子化学特別研究 II
(大学院博士後期課程) 生体高分子構造論, 特別演習, 特別実験, 特別調査研究

7. 応募資格・条件

- (1) 博士の学位を有し(着任時まで取得見込みも含む), 学部学生および博士前期・後期課程の学生の指導に熱意を持って取り組めること。
 - (2) 当該教育研究分野の活動に積極的かつ協動的に取り組むことができ, 大学教員として学内外の諸活動にも積極的に協力できること。特に, 当該教育研究分野の教育研究について, 講座教員と連携・協力して取り組めること。
 - (3) 当該教育研究分野が担う教育研究領域における研究能力を有すること。具体的には, 海洋生物に関する基礎的知識を有し, それらの採取や飼育, 培養する技術, またバイオインフォマティクスを用いたタンパク質や遺伝子解析を行う能力を有し, これらについて研究業績があることが望ましい。
 - (4) 海洋生物を重要な生物資源として捉え, その利活用を目指す水産化学の特色を理解して教育研究を担当できること。
 - (5) 地域圏大学としての三重大学の目標を理解し, 地域創生につながる地元自治体・企業などとの産官学連携(共同・受託研究)に積極的に取り組む意思を有すること。
- *男女共同参画の観点から女性研究者の積極的な応募を望みます。

8. 応募書類(各1部を提出)

- (1) 履歴書(写真貼付; 高等学校卒業以降の学歴, 職歴, 学位取得年月日と論文題目, 所属学会, その他学会賞などの受賞歴, 資格など)
- (2) 業績目録(原著論文, 著書, 総説, その他について, 項目ごとに分けて発表時期の新しいものから順に並べ番号を付すこと)。原著論文については, 自らの貢献度や実際に担当した部分について説明する文章(各200字程度)を添えること。
- (3) 上記業績目録にかかる現物もしくは別刷(コピー可)(代表的なもの5編以内)
- (4) 研究費獲得実績, プロジェクト参加実績一覧
- (5) 教育に関する実績一覧
- (6) 学会等での活動, 地域における取り組みなど, 社会貢献・連携に関する業績一覧
- (7) 大学等での管理運営に関する実績一覧
- (8) これまでの教育研究活動に関する概要(A4判, 1000字程度)。業績目録(2)の原著論文の番号を引用のこと。
- (9) 着任後の教育研究活動に関する抱負(A4判, 1000字程度)。
- (10) 応募者の連絡先(住所, 電話番号, 電子メールアドレス)
- (11) 応募者についての照会先(2名: 氏名, 所属, 役職, 電話番号, 電子メールアドレスなど)

なお, 応募書類の返却はいたしません。

9. 応募期間

令和4年11月1日(火)～令和5年1月16日(月)(必着)

10. 選考方法

書類審査を主としますが、選考の過程で面接を行う場合があります。
面接の場合の旅費は、自己負担となります。

11. 着任時期

令和5年5月以降のできるだけ早い時期

12. 応募書類提出先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻

専攻長 教授 柿沼 誠

(持参または郵送。郵送の場合は簡易書留で「生物圏生命科学専攻教員公募書類在中」と朱書きのこと)

13. 問い合わせ先

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

三重大学大学院生物資源学研究科 生物圏生命科学専攻 海洋生命分子化学講座

講座主任 教授 船原 大輔

TEL : 059-232-1211 (三重大学代表)

E-mail: funabara@bio.mie-u.ac.jp

14. 参考

海洋生命分子化学講座教員一覧 (令和4年11月1日現在)

教育研究分野	教授	准教授	助教
海洋生物化学	柿沼 誠		五十嵐 洋治
水圏生物利用学	田丸 浩		
水圏材料分子化学		伊藤 智広	
生物物性学	大井 淳史		
生体高分子化学	船原 大輔		[本公募]
海洋微生物学	福崎 智司	田中 礼士	
水産物品質学	青木 恭彦	岡崎 文美	
海洋食糧化学		柴田 敏行	

生物資源学研究科ホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/>

生物圏生命科学専攻ホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep03/index.html>

海洋生命分子化学講座ホームページ

<https://www.bio.mie-u.ac.jp/academics/master-15/dep03/course08/index.html>

以上